

■一般目標（GIO）

口腔外科で取り扱う疾患と全身との関係や口腔外科領域の疾患を理解し、歯科衛生士としての診療介助や患者への対応の際に必要な基礎的知識を修得する。

■到達目標（SBOs）

- 清潔と不潔の区分を説明できる。
- 診察の基本事項について説明できる。
- 基礎疾患を有する患者の歯科治療時における注意点を述べることができる。
- 抜歯術と口腔外科小手術の基本手技を説明できる。
- 顎口腔領域の先天異常・発育異常を説明できる。
- 口腔粘膜病変の種類と病態を説明できる。
- 唾液腺疾患と神経疾患の種類および病態を説明できる。
- 炎症性疾患の病態と消炎手術の基本手技を説明できる。
- 顎口腔領域に発生する嚢胞の種類および病態を説明できる。
- 顎口腔領域に発生する腫瘍の種類および病態を説明できる。
- 創傷の治癒と創傷の処置を説明できる。
- 顎関節疾患の種類および病態を説明できる。
- 口腔に異常をきたす血液疾患の種類および病態を説明できる。
- 歯科インプラント治療の基本的事項を説明できる。

■教科書：1 歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学
（医歯薬出版）

■参考書：歯科衛生士必須 有病者歯科学（日本有病者歯科医療学会）
歯科国試パーフェクトマスター口腔外科学Ⅰ（医歯薬出版）

■授業時間：木曜日 （1） 9：00 ～ 9：50
（2） 10：00 ～ 10：50

■オフィスアワー：篠塚 啓二 火曜日、木曜日 16：30～17：30
shinozuka.keiji@nihon-u.ac.jp
白土 博司 火曜日、木曜日 16：30～17：30
shiratsuchi.hiroshi@nihon-u.ac.jp
玉川 崇皓 火曜日 16：30～17：30
tamagawa.takaaki@nihon-u.ac.jp

■授業の方法：教科書、参考書の内容をもとに講義する。

■準備学習・講義項目について事前に教科書や参考書を読み、出席すること
準備学習時間：と。各々授業時間相当を充てて予習を行うこと。

■成績評価方法：定期試験(90%)，出席(10%)を総合して評価する。

■注意事項：事前に教科書を読み、わからない単語を調べること。
講義には教科書および記録したノートを持参すること。

- 実務経験：篠塚 啓二：現在，日本大学歯学部口腔外科学第Ⅰ講座に在籍。
口腔外科医の立場から口腔外科学関連の各種疾患について，これまでの口腔外科診療の経験を基に講義を行い，学ぶ場を提供したいと考えている。
- 白土 博司：現在，日本大学歯学部口腔外科学第Ⅱ講座に在籍。
口腔外科医の立場から口腔外科学関連の各種疾患について，これまでの口腔外科診療の経験を基に講義を行い，学ぶ場を提供したいと考えている。
- 玉川 崇皓：現在，日本大学歯学部口腔外科学第Ⅱ講座に在籍。
口腔外科医の立場から口腔外科学関連の各種疾患について，これまでの口腔外科診療の経験を基に講義を行い，学ぶ場を提供したいと考えている。
- 伊藤 伸介：現在，日本大学歯学部口腔外科学第Ⅱ講座に兼任講師として在籍地域医療の現場で口腔外科診療を実践する立場から口腔外科学関連の各種疾患について，これまでの経験を基に講義を行い，学ぶ場を提供したいと考えている。

■予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1・2回 4月17日 篠塚 啓二	1) 口腔領域の先天異常と発達異常 (教)p. 7-25 2) 顎口腔領域の損傷および機能障害 (教)p. 26-44 (教)p. 224-226	- 口腔軟組織の先天異常と発育異常を理解する。 - 口唇裂口蓋裂を理解する。 - 顎の先天異常と発育異常を理解する。 - 軟組織損傷を分類し説明できる。 - 歯および歯槽骨の損傷の分類を説明できる。 - 顎骨骨折を分類し説明できる - 顎骨骨折の治療法を説明できる。
第3・4回 4月24日 玉川 崇皓	1) 口腔外科手術の準備 (教)p. 169-170 2) 診療室と器材の管理 (教)p. 170-172 3) 手指衛生と防護具 (教)p. 173-175	- 清潔不潔を理解する。 - 滅菌と消毒の方法を理解する。 - 診療ユニットの準備と片付けを理解する。 - スタンダードプレコーションの概念を理解する。
第5・6回 5月1日 白土 博司	1) 口腔外科学の概要 (教)p. 2-6 2) 口腔外科診療での診察手順 (教)p. 148-152	- 顎口腔の解剖を把握し，領域疾患の特徴，診断法を理解する。 - 口腔外科診療における歯科衛生士の役割を理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第7・8回 5月8日 篠塚 啓二	1) 創傷処置と切開 (教)p. 30-34 (教)p. 176-177 2) 口腔出血に対する 処置法 (教)p. 178-182 3) 縫合処置 (教)p. 184-187	・ 創傷の治癒機転を理解する。 ・ 創傷処置の手順を説明できる。 ・ 止血法を分類し説明できる。 ・ 止血剤と止血薬を分類し，その使用法を説明できる。 ・ 縫合の種類と目的を理解する。 ・ 縫合に必要な器具と基本的な扱いを理解する。
第9・10回 5月15日 白土 博司	歯科診療で問題となる全身疾患（循環器疾患，脳血管疾患，糖尿病，骨粗鬆症，消化器疾患，腎疾患 etc） (教)p. 153-168	・ 歯科診療で問題となる基礎疾患を理解する。 ・ 全身疾患を有する患者の歯科治療時の注意点を理解する。 ・ 薬剤関連顎骨壊死について理解する。
第11・12回 5月29日 篠塚 啓二	1) 拔牙術 (教)p. 188-202 2) 小帯切除術 (教)p. 206-208 3) 歯槽骨整形術 (教)p. 208-211	・ 拔牙の適応症と偶発症を理解する。 ・ 拔牙の術式と介助の方法を理解する。 ・ 口腔内の小帯の種類と小帯異常の治療法を理解する。 ・ 歯槽骨整形術の目的と術式を理解する。
第13・14回 6月5日 伊藤 伸介 白土 博司	1) 顎口腔領域の炎症性疾患 (教)p. 70-85 2) 消炎手術 (教)p. 202-206	・ 炎症性疾患の原因および感染経路を理解する。 ・ 炎症性疾患の臨床症状を理解する。 ・ 消炎処置の適応，術式，使用器具を理解する。
第15・16回 6月12日 白土 博司	口腔粘膜の病変 (教)p. 45-69	・ 口腔粘膜疾患の種類と病態を理解する。 ・ 口腔粘膜疾患の診断と治療を理解する。 ・ 口腔潜在的悪性疾患を理解する。
第17・18回 6月19日 伊藤 伸介 白土 博司	1) 顎口腔領域の嚢胞 (教)p. 86-94 2) 嚢胞摘出術 (教)p. 211-218	・ 嚢胞の定義を説明できる。 ・ 顎口腔領域に発生する嚢胞の種類，病態，診断法，治療方針，予後を理解する。 ・ 根尖切除術の適応症と術式を理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第19・20回 6月26日 白土 博司	1) 顎口腔領域の腫瘍 (教)p. 95-105 2) 顎口腔領域の腫瘍 類似疾患 (教)p. 106-108 3) 良性腫瘍切除術 (教)p. 221-222 4) 口腔上顎洞瘻閉鎖除 術 (教)p. 222-224	・ 腫瘍の概念を理解する。 ・ 良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。 ・ 顎口腔領域に発生する腫瘍の分類を理解する。 ・ 腫瘍類似疾患を理解する。 ・ 良性腫瘍切除術の術式を理解する。 ・ 口腔上顎洞瘻閉鎖術の適応と術式を理解する。
第21・22回 7月3日 白土 博司	1) 唾液腺疾患 (教)p. 117-125 (教)p. 218-220 2) 口腔領域の神経疾患 (教)p. 126-133	・ 唾液腺の役割と種類を説明できる。 ・ 唾液腺の炎症性疾患と唾液腺腫瘍を理解する。 ・ 顎口腔領域の神経支配を説明できる。 ・ 三叉神経痛，三叉神経麻痺，顔面神経麻痺の臨床症状を説明できる。
第23・24回 7月10日 篠塚 啓二	顎関節疾患 (教)p. 109-116	・ 顎関節の特徴と構造を説明できる。 ・ 顎関節脱臼の症状と治療法を説明できる。 ・ 顎関節症の治療方針を説明できる。 ・ 顎関節強直症の症状と治療方針を説明できる。
第25・26回 7月17日 玉川 崇皓	1) 口腔インプラント手術 (教)p. 227-231 2) インプラント周囲炎 (教)p. 74	・ 口腔インプラント治療，手術の基本を理解する。 ・ インプラント周囲炎の病態と治療方針を説明できる。
第27・28回 7月24日 白土 博司	血液疾患 (教)p. 134-140	・ 貧血を説明できる。 ・ 白血病を説明できる。 ・ 出血性素因を説明できる。 ・ 血液疾患と歯科治療の関係性を説明できる。